

父島津波浸水ハザードマップ基本図

津波ハザードマップについて

平成23年3月11日に東日本の沖合を震源とする東北地方太平洋沖地震による津波が発生し、東日本の太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらしました。また、平成25年5月に東京都が公表した南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定では、島しょ部において、津波高が高くなり、津波浸水想定区域における建物被害や人的被害の発生が予想されています。

津波対策においては、「海岸付近において、強い揺れやゆっくりとした長い揺れを感じたとき、あるいは、津波警報等が発表されたときは、直ちに海岸から離れて急いで安全な場所に避難する。」という津波避難を徹底することが、人的被害を軽減するうえで重要です。「父島津波浸水ハザードマップ基本図」は、皆さんに津波災害の危険性を知って、防災について考えていただくために作成しました。津波による浸水想定区域、津波避難所、避難目標地点、避難経路、および津波に対する注意点などについて日ごろから確認し、津波が発生したときにとるべき行動を普段からご家族や地域で話し合っておきましょう。

小笠原村総務課
電話:04998-2-3111(代表)

強い揺れやゆっくりとした長い揺れを感じたとき、津波警報や津波注意報が発表されたとき

海の様子を見に行かない!!!

すぐに高いところへ避難!!!

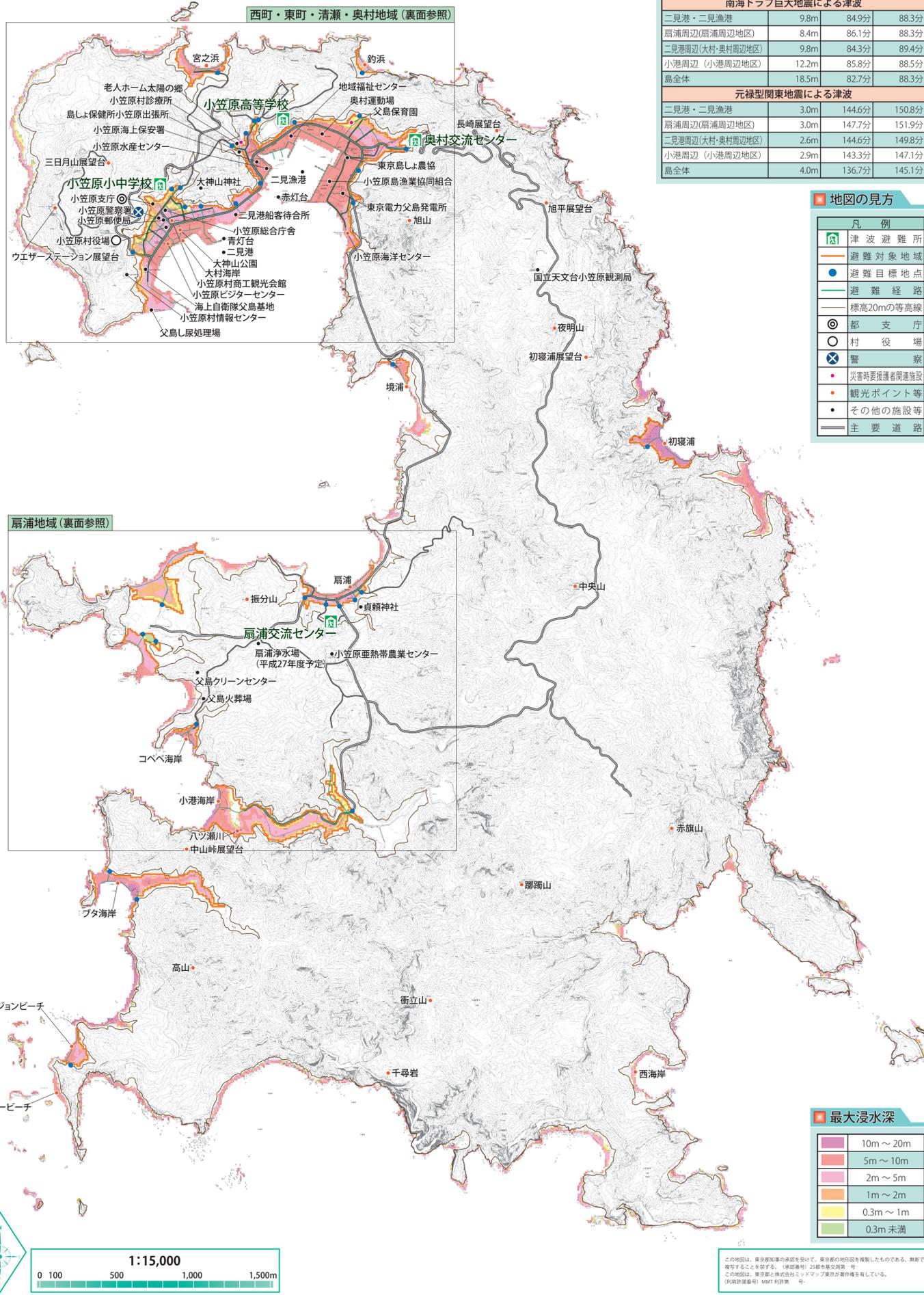
津波警報や津波注意報が解除されるまでは、海岸付近に戻らない!!!

大津波警報・津波警報・津波注意報

気象庁は、地震が発生したときに地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を津波予報区単位(本島は、小笠原諸島予報区に属します)で発表します。

種類	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	10m以上 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難所など安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※地震発生初期において、地震の規模や震源の位置が把握できない場合には、津波の高さを正確に予測することが困難であるため、津波の高さを定性的表現で発表します。



各地での最大津波高と到達時間

地点名	最大津波高	1m津波高の到達時間	最大津波高の到達時間
南海トラフ巨大地震による津波			
二見港・二見漁港	9.8m	84.9分	88.3分
扇浦周辺(扇浦周辺地区)	8.4m	86.1分	88.3分
二見港周辺(大村・奥村周辺地区)	9.8m	84.3分	89.4分
小港周辺(小港周辺地区)	12.2m	85.8分	88.5分
島全体	18.5m	82.7分	88.3分
元禄型関東地震による津波			
二見港・二見漁港	3.0m	144.6分	150.8分
扇浦周辺(扇浦周辺地区)	3.0m	147.7分	151.9分
二見港周辺(大村・奥村周辺地区)	2.6m	144.6分	149.8分
小港周辺(小港周辺地区)	2.9m	143.3分	147.1分
島全体	4.0m	136.7分	145.1分

地図の見方

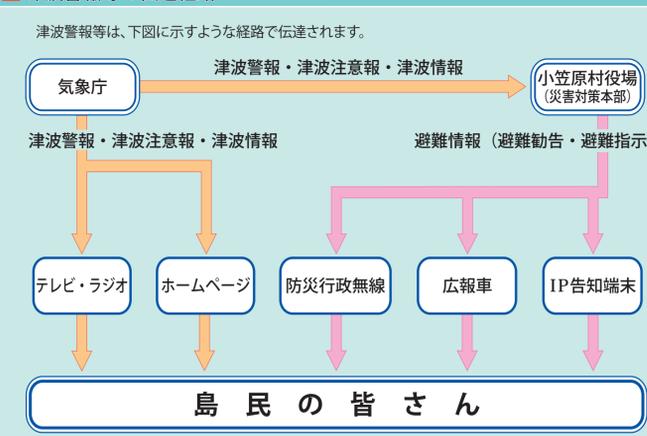
- 凡例
- 津波避難所
- 避難対象地域
- 避難目標地点
- 避難経路
- 標高20mの等高線
- 都支庁
- 村役場
- 警察
- 災害時要援護者関連施設
- 観光ポイント等
- その他の施設等
- 主要道路

津波情報

気象庁は、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表した場合には、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどの津波情報を津波予報区単位(本島は、小笠原諸島予報区に属します)で発表します。

種類	内容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻*や予想される津波の高さを発表します。 ※各津波予報区でもっとも早く津波が到達する時刻で、場所によっては、この時刻よりも遅れて津波が襲ってくることもあります。
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表します。
津波観測に関する情報	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表します。
沖合の津波観測に関する情報	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表します。

津波警報等の伝達経路



津波から身を守る最大のポイントは、早く逃げることです。津波による災害の発生が予想されたら、直ちに避難しましょう。

津波避難時の心得

- 津波のスピードは速い!**
津波のスピードは速く、震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れやゆっくりとした長い揺れを感じたら、すぐに避難を開始しましょう。
- 大津波警報には、特に注意!**
津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波の高さは、地形により変化!**
津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波はくり返し襲ってくる!**
津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。
津波による浸水の区域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 正しい情報を聞く!**
ラジオ、テレビなどから正しい情報を入手するように努め、出来るだけ冷静に行動しましょう。うわさや思い込みは、間違った行動を誘発します。
- 徒歩での避難!**
車での避難は、渋滞や事故のおそれがあり、津波にのみ込まれる危険性があります。避難は徒歩が基本です。
- お年寄りなどへの避難の協力!**
お年寄りや身体に障がいをもたれた方など、手助けが必要な方がいます。ご近所で協力合せて避難しましょう。
- 家族会議を開こう!**
家族を捜しに行くと、津波にのみ込まれた事例があります。普段から安全に避難できる場所を家族で話し合っておき、その場所に家族が集まりましょう。
- 避難訓練に参加しよう!**
人間は、過去にやったことがない行動をいざというときに取れないといわれています。避難訓練に参加し、実際に歩いて津波避難所の位置や避難経路などを確認し、いざというときに備えましょう。

この地図は、東京都市圏の地図を基に、東京府の地形図を複製したものである。無断で複製することを禁ずる。(複製権) © 2023 東京都市圏地図製作委員会
この地図は、東京都市圏株式会社ミッドマップ東京が著作権を有している。(複製権) © 2023 東京都市圏地図製作委員会